

外国人材ワンストップセンター設置など受け入れ促進

「人づくり」を支援

道は、一般会計補正2513億円

道が19年度補正予算案

と、知事選を控えた骨格だった当初予算を合わせ2兆8609億円となる2019年度補正予算案を発表した。保健福祉費は4131億円で18年度比4・1%増。外国人介護人材の生活・就労に関するワンストップセンター新設など受け入れ促進ほか、介護未経験者を対象とした入門的研修開催、現任者の資質向上研修拡充など「人づくり」に重点を置いた支援を計画している。

業費を充てる。

援とともに、道内企業

る。 助成する介護助手普及

重点項目「健やかに

重点項目に掲げた等を対象とした外国人「多様性と可能性を活かした確かな未来づく」の挑戦では、外国人材受け入れ拡大・共生活の促進など、地域と企業・地域の重点項目に掲げた等を対象とした外国人材採用相談会開催などは、介護分野への就労のきっかけづくりと現任者の資質向上に力を入れる。また、介護業務に携わる人への不安を払しょくするため、介護未経験者に対する研修拡充も、市町村に設置された認知症初期防止等市町村支援事業など拡充。認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症コールセンター設置、認知症サポーター養成等に取り組む。

介護未経験者対象に入門的研修開催、現任者研修拡充も

市町村の実施する介

保健福祉関係について、当初予算は社会福祉施設整備、胆振東部地震で被災した社会福祉施設の復旧整備支保・定着や現任者の資質向上を図る各研修拡充など「人づくり」の取組を中心とした「外国人材受け入れ環境整備を進める。特に外国人介護人材の確保。市町村の実施する介護予防事業、自立支援・

産業をけん引する人受け入れ環境整備を進める。特に外国人介護人材の確保。市町村の実施する介護予防事業、自立支援・職業定着を図るため、人材の就労促進を図る。また、地域の多様な人材を介護助手として直アマネを対象に保健・